

平成30年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
43	多治見高等学校

学校教育目標	高校生活のあらゆる場において、ひたむきに自己の可能性を追求できる、視野の広い、心豊かな青年を育成する。 スローガン 「一人一人の文武両立」「さわやか挨拶 多治高生」 校訓 「進取 努力 創造」	
<教育指導の重点> 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	達成度の判断・判定基準あるいは評価指標
1 生徒一人一人に「存在感」・「自己効力感」をもたせる授業内容及び評価方法の研究と実践	①少人数授業や習熟度別授業の充実を図るとともに、評価方法のさらなる研究、学習到達度の設定などをテーマとして授業改善に努めます。 ②自宅学習時間3時間以上を目標として授業内容、課題を設定します。 ③上記の①②を達成させるために、教科会の充実を図り、授業力の向上を含めた教育力の向上に努めます。 ④「アクティブラーニング型授業」を活かした効果的な授業方法を研究します。	①授業評価や学習成績の追跡調査及び「生徒及び保護者等を対象とするアンケート調査」結果により、分析・評価します。 ②自宅学習記録用紙への記入や面談等によって、分析・評価します。 ③学習指導委員会や様々な会議によって、分析・評価します。 ④「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」や日々の授業評価を行うことによって分析・評価します。
2 開かれた進路指導の実現とキャリア教育の促進による個人及び学校の進路目標の実現	①目標の明確化と評価過程を充実させます。 ②開かれた進路指導を推進します。 ③キャリア教育の一層の充実を図ります。 ④新しい入試制度及び次期学習指導要領に対応できる指導方法を研究します。	①模試、入試結果を校務分掌会・職員会議で評価します。 ②進路行事への反応とアンケートを評価します。 ③総合学習、LHR、進路行事の充実度を評価します。 ④先進事例に関する研究及び指導方法に関する提案の充実度を評価します。
3 身だしなみ・遅刻防止・あいさつ指導を中心として、基本的生活習慣の確立と倫理観・規範意識の育成	①毎月「身だしなみ確認週間」を設定し、生徒自らが意識できる体制をつくります。 ②遅刻年間総数500回以下を目標として、生活習慣の確立、時間厳守の姿勢を養います。 ③地域と連携して、交通安全運動指導とあいさつ運動を実施します。 ④HR活動や部活動も含め、あらゆる場で、倫理観・規範意識の育成を図ります。	①学校評議員や育友会等で評価していただきます。また、「生徒及び保護者等対象とするアンケート調査」で評価します。 ②職員会議で毎月データを提示して評価し、指導の充実を図ります。 ③④「生徒及び保護者等対象とするアンケート調査」で評価します。

<p>4 文武両立を通じた生徒一人一人の自主性の育成と、地域において活躍・貢献できる人材の育成</p>	<p>①生徒が達成感や満足感を感じられる行事になるように、活動しやすい環境を整えることで、高い志とチャレンジ精神で臨み、夢を実現できる力の育成に努めます。</p> <p>②HR活動・生徒会活動・部活動等、生徒の自治活動を支援することにより、生徒の自主性や自立心及び人間関係形成能力を育てます。</p> <p>③学習とともに部活動への積極的な参加を促すとともに、特別活動や生徒会活動を通じて、生徒の自己有用感を醸成し、集団や学校への帰属意識を高めるように努めます。</p> <p>④地域行事等の機会を利用した貢献活動（ボランティア活動等）への積極的な参加を推進し、思いやりの心・進んで奉仕する心を養うことで、心豊かな生徒の育成に努めます。</p>	<p>①各行事に対する生徒アンケートで評価します。（満足度85%以上）</p> <p>②生徒及び保護者アンケート調査の「学習と部活動の両立」についての項目、LHRの実施状況報告、生徒アンケート（満足度80%以上）、部活動の加入状況及び活動状況、成績等、委員会の活動実績で評価します。</p> <p>③生徒及び保護者アンケート調査で評価します。（A・B評価70%以上）</p> <p>④ボランティア活動への参加者数や生徒の活動報告、生徒及び保護者アンケート調査で評価します。（目標参加者200人、A・B評価60%以上）</p>
<p>5 生徒一人一人の自己管理能力の育成と安全で快適な学習環境の整備</p>	<p>①個々の生徒が自分の健康に留意して、自分で管理できる能力を育成します。</p> <p>②安全点検を定期的実施し、安全で快適な学習環境の整備に努めます。</p> <p>③自然災害や危機、健康被害等の危機管理体制を徹底し、学校災害等に対して万全な体制で備えます。</p>	<p>①健康診断・諸検査の意義を理解させ、事後指導の必要数と受診状況で評価します。</p> <p>②職員と生徒による安全点検から危険個所の把握と、修繕具合から評価します。</p> <p>③命を守る訓練や救急救命講習を実施し、防災体制の充実度から評価します。</p>
<p>6 自然科学コースの授業及び行事の一層の充実</p>	<p>①少人数クラス授業を継続し、きめ細かな指導ができるようにします。</p> <p>②自然科学コース独自の行事等の充実を図ります。</p>	<p>①アンケートによる意識調査と学力の分析をします。</p> <p>②行事実施ごとにアンケートをとり、行事の評価をするとともに、次年度の改善点を見つけます。</p>
<p>7 教職員の勤務環境の改革に関する取組の推進</p>	<p>①「教職員働き方改革プラン2018」に基づき、長時間勤務の解消、ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決、及びマネジメント力向上に向けた組織・体制づくりに重点的に取り組みます。</p> <p>②日常の職務を振り返るために職員会議や研修会等の機会を活用して、学校法規の内容や趣旨をよく理解し職務の遂行に専念するなどコンプライアンスの意識向上に努めます。また、その徹底のために組織で対応することを心がけるなど学校マネジメントに努めます。</p> <p>③教職員のキャリア発達やキャリア形成に着目した職能発達に努めます（「岐阜県『教員のキャリアステージ』における資質の向上に関する指標」参照）。</p>	<p>①正確な勤務時間の把握、早期退勤日等の設定、業務内容の徹底的な見直し、部活動の休養日の設定、外部人材配置の推進、等における指標の達成状況を評価します。またハラスメントやメンタル不調に対しては、管理職による個人面談やストレスチェックの徹底及び産業医による指導等を評価し速やかな改善を図ります。</p> <p>②生徒及び保護者アンケート調査結果、人事評価表の自己評価欄の記述及び不祥事防止や情報セキュリティ等各種のチェックシートの回答状況を分析し課題の解決を図ります。</p> <p>③校内外の研修機会活用を促すとともに、その報告や成果物を評価します。また、研修成果を同僚で共有できているかについても評価します。</p>